

平成 30 年度（第 29 回）熊本県透析施設協議会 スタッフ講習会報告

宮田 昭

平成 30 年 7 月 29 日/熊本県「平成 30 年度（第 29 回）熊本県透析施設協議会スタッフ講習会」

平成 30 年度（第 29 回）熊本県透析施設協議会スタッフ講習会が、済生会熊本病院において、熊本県透析施設協議会主催、熊本県臨床工学技士会と熊本県腎不全看護研究会の共催により開催されました。臨床工学

技士と看護師を中心に 154 名が参加し、講義内容に即した基本的な設問を集めたプレテストから始まり、2 回の休憩と昼食をはさんで、8 人の専門家からそれぞれの分野における透析治療について講義を受けました



図 1 プレテスト風景



図 2 受講風景



図 3 心理カウンセラーによる講義

表 1 講義内容

講義① 慢性腎不全の療法選択（9：30～9：55）
熊本赤十字病院腎センター看護師 橋本亜紀（はしもとあき）先生
講義② 検査結果の見方と合併症～循環器～（9：55～10：20）
熊本大学附属病院腎臓内科 栗原孝成（くわばらたかしげ）先生
講義③ 腎性貧血（10：35～11：00）
国立病院機構熊本医療センター腎臓内科 梶原健吾（かじわらけんご）先生
講義④ 透析患者の栄養（11：00～11：25）
熊本中央病院栄養科 村岡まき子（むらおかまきこ）先生
講義⑤ バスキュラーアクセス（11：25～11：50）
熊本市市民病院腎臓内科 宮中 敬（みやなかけい）先生
講義⑥ 透析患者さんとの接し方——コミュニケーションロールプレイ（12：50～14：20）
くまもと心理カウンセリングセンター 岡崎光洋（おかざきみつひろ）先生
講義⑦ 透析患者に使う薬の知識（14：35～15：00）
済生会熊本病院薬剤部 柴田啓智（しばたあきとも）先生
講義⑧ 抗凝固剤・ダイアライザー（15：00～15：25）
済生会熊本病院臨床工学科 吉田 豊（よしだゆたか）先生

(図 1～3).

講義内容は表 1 のとおりでした。

今回の講習会は血液透析治療に関することばかりでなく、慢性腎不全の療法選択を適切に行うよう治療法のメリット・デメリットに関する講義から始まりました。このセッションでは、慢性腎不全の進行をできるだけ抑制する努力が重要であることから始まり、腹膜透析、血液透析、在宅透析、そして腎移植までの一連の治療についての概論と療法選択について講義が行わ

れました。

また、例年行われている臨床心理士によるロールプレイングの手法を用いた（時として困難を認める）透析患者さんとのコミュニケーションの重要性と、透析医療従事者の心の在り方について参加者に学んでもらいました。主に講義形式で、また一部参加型で、日曜日の日中一日を費やして非常に熱心な講習会となりました。終了時には終了証の授与とポイントの付与が行われました。

*

*

*